

8月4日(木)発行

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

ほぼ
日刊サマーミュージア

Hobo Nikkan Summer Muza



記憶に残る山本直純アニバーサリー！

8/3 新日本フィルハーモニー交響楽団 山本直純生誕 90年と新日本フィル創立 50年を祝う！

©N.Ikegami



左：山本純ノ介 中央：梅田俊明 右：山本祐ノ介

お客様から

どの曲も直純さんの大らかで優しい心が感じられ、あの笑顔が目に浮かぶ曲でした。一部の演奏は、プロってやっぱり素晴らしい技術と表現力の持ち主だと感動しました。二部は改めてどの曲も心に沁みて、懐かしさもあり、良い曲だな……と涙が出ました。(60代・まさこ) / カプリチオがすごい。こんな曲が60年前にあったのか。各種の和楽器やドラムスの可能性が直純さんの個性のもので大きく広がった気がする。とにかく楽しい。(70代・会田博行) / 偉大な作曲家とその頭脳を喪失した大きな悲しみと、それでもこうして彼の残した曲が聴ける喜びで、涙が流れた。これからもこうした企画をお願いします。(？代) / TVの面の山本直純しか知らなかったが、今日の曲を聞き、純粋に聴衆を楽しませようとする面を知ることができ、とても良かった。幸せな気分になったコンサートでした。(60代・ヒデちゃん) / プレトークの山本さん、お顔、声が直純さんそっくりで昭和に戻ったみたいと感じた。懐かしかった。(60代・eppyon) / 指揮者変更や曲数減少など散々な変更が多かった演奏会ですが、この演奏会では音楽の力と言葉の力を感じました。(50代・tarotaro) / 懐かしい曲に涙腺がゆるみました。直純さん、ありがとう！(50代・Aung Shein)

この夏、創立50周年を迎えた新日本フィルが、2年ぶりとなるサマーミュージアのためにフィーチャーしたのは、楽団の生みの親のひとりである天才音楽家、山本直純だ。

急病で降板した広上淳一に代わり、指揮台に立ったのは梅田俊明。前半には、1983年に「オーケストラがやって来た」の番組終了に際して作曲された『シンフォニック・バラード』と、1963年に日本フィルの委嘱で書かれた『和楽器と管弦楽のためのカプリチオ』という、シリアスな大曲が並んだ。

『カプリチオ』は、箏や三味線、尺八にドラム、ギターなど、9名の和洋楽器のソリストが大管弦楽と対峙

する破天荒な超大作で、「練習の2日前に楽譜が届いて、必死で譜読みをした」という梅田が見事にリードして聴衆をうならせた。

一転して後半は、童謡やテレビ主題歌など、おなじみの曲目がてんこ盛りになった楽しいステージに。「1年生になったら」や「歌えパンパン」など4曲からなる童謡メドレーでは、トレードマークの赤いタキシードを着た次男の山本祐ノ介がタクトをとり、あたかも直純さんが帰ってきたかのようなムードに。東京藝大作曲科の同級生だった直純夫人の山本正美が作曲した『スプリング・ハズ・カム』が聴けたのも心憎い選曲だ。

最後は『CMソング、TV/ラジオ

番組メドレー』の「男はつらいよ」で締めくり、アンコールには地元川崎市のために作曲された『好きです かわさき 愛の街』が東京音大有志の女声コーラス入りで演奏されて、まさにサマーミュージアにふさわしい大団円となったのである。(音楽ジャーナリスト 岩野裕一)



童謡メドレーは山本祐ノ介が指揮

配信控え室から



初のテロップ出しが、今年のサマーミュージアで最大の曲数…。絶体絶命のピンチ！と思わずにはいられず。でも、どこかで聴いたことのある馴染み深いメロディーも多数。ドキドキでしたが、終わった今では楽しい演奏会だったなとも思っています。

(From テロッパー)



サマーミュージアは配信も充実！

見どころ・聴きどころや

配信の現場の声をお届けします。

上記レビュー公演のアーカイブ配信は8/5(金)正午から開始！

【出演】指揮：梅田俊明
合唱：東京音楽大学合唱団有志
箏：田村法子 三味線：野澤徹也 尺八：石垣征山
邦楽打楽器：望月太喜之丞・富田慎平・長田伸一郎
竜笛：伊崎善之 ドラムス：東 佳樹 ギター：尾尻雅弘

【配信限定コンテンツ】
オープニングインタビュー：
渡辺泰 (新日本フィルハーモニー交響楽団 フルーツ / ビッコロ奏者)





藤岡幸夫による、オール・フレンチ・プログラム

本日(8月4日)のマエストロ・藤岡幸夫がミュージーザに次回登場するのは、12月3日(土)に開催する「ミュージーザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集第182回」。

まずは、フォーレのもの憂いメロディーが印象的な「パヴァーヌ op. 50(合唱付き)」。合唱は東響コーラス、相性ばっちりの東響×東響コーラスのサウンドにどうぞ期待ください。そして「パヴァー

ヌ」と同時期に作曲され、「三大レクイエム」の一つとして名高いフォーレの「レクイエム op. 48」は1893年版・ラター校訂で、独唱に砂川涼子、与那城 敬という実力派二人を迎えてお送りします。

後半はフォーレに学んだラヴェルの名曲を。組曲「マ・メール・ロワ」に、最後は「ボレロ」で盛大に締めくくります。

藤岡幸夫による、オール・フレンチ・プログラムをお楽しみに！



名曲全集第182回 12月3日(土) 14:00 開演

【出演】

指揮：藤岡幸夫
ソプラノ：砂川涼子
バリトン：与那城 敬
合唱：東響コーラス
管弦楽：東京交響楽団

【曲目】

フォーレ：パヴァーヌ op.50 (合唱付き)
フォーレ：レクイエム op.48 (1893年版/ラター校訂)
ラヴェル：組曲「マ・メール・ロワ」
ラヴェル：ボレロ

【チケット】S¥7,000 A¥6,000 B¥4,000 C¥3,000 当日学生券¥1,000 (要問合せ)



パートナーショップのご紹介
**エンジョイ！
川崎！！**
Enjoy Kawasaki

予想以上のボリュームで 大満足の イタリアンランチ♪



アトレ川崎4Fにあるトラットリア ターヴォラにて、「ラザニアと選べるパスタのプレート(サラダ付き)」を食しました。選んだパスタは、たらこ・イカ・しその和風パスタ。写真で伝わるでしょうか・・・思った以上にボリュームです！ドリンクセットのジンジャールと合わせて1,570円とちょっとお高めですが、ラザニアとパスタの

両方を楽しめて大満足のランチでした。アトレの中にあるので、雨の日にもミュージーザから傘を差さずに行けるのも良いところ。オープンな雰囲気のお店なので、友人や家族との食事にもお勧めです♪(配信チーム・こ)

トラットリア ターヴォラ **パートナーショップ特典**
F アトレ川崎4F ワンドリンクサービス

フェスタサマーミュージーザ公式サイト
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>

#フェスタサマーミュージーザ
#夏ジャン
て検索 & 投稿
お待ちしております！



Twitter: @summer_muza
Facebook: @kawasaki.sym.hall
Instagram: @muzakawasaki

岡

密にならないよう厳選した少数精鋭の商品たちは人気の定番から新作まで、見るだけでも楽しい音楽グッズを揃えてお待ちしております。終演後もしばらく営業しておりますので、素晴らしい演奏の記念にぜひお立ち寄りくださいませ。(プレリコード店長・藤岡)

さて、そんな私たちの仕事はクラシックファンや器楽演奏家に喜ばれる音楽グッズばかりを専門に取扱う全国的にも珍しいお店です。コロナ禍により2年5カ月間休業していましたが、今回のサマーミュージーザから復活しました。

今日の演目は私の大好きなコーランドのクラリネット協奏曲とレスピーギのローマの松。しかも、私の敬愛する藤岡幸夫さんの指揮！熱い演奏に心を奪われて仕事を忘れてしまいました。・・・ちなみに同じ苗字！なのですが残念ながら血縁者ではありません。

毎日 **日刊サマーミュージーザ**
Hobo Nikkan Summer Muza

みなさまこんにちは。1Fホワイエのショップ店長・藤岡です。連日の名演・熱演に毎日があっという間に過ぎていく夏！ジャンも後半戦に突入しました。

スタツフ日誌

コンサートと一緒に
もうひとつのお楽しみ！

PARTNER SHOP

↑サービス対象店舗はこのPOPが目印！
スマホからクーポン券を提示するだけ！
クーポン券は7/23～8/11まで
何度でも利用できます。
公演がない日でももちろんOK！

掲載店一覧はこちら